

三菱東京フィナンシャル・グループの設立について

平成12年11月28日

株式会社東京三菱銀行
三菱信託銀行株式会社
日本信託銀行株式会社

．統合の理念

株主の皆様とお客様から評価される多角的金融サービス・グループ

- 1．業態を超えた多角的金融サービス・グループ
- 2．柔軟性と発展性を備えた組織体制
- 3．強い相互信頼関係に基づく統合効果の早期実現
- 4．信託業務の一体化による専門性の高度化と業務の効率化
- 5．高度なリスク対応力を有する信頼の金融サービス・グループ

．持株会社の概要

1．持株会社の名称

商 号：株式会社 三菱東京フィナンシャル・グループ
英文名称：Mitsubishi Tokyo Financial Group, Inc.

2．事業目的

傘下子会社およびグループの経営管理、ならびにそれに付帯する業務

3．会長および社長

取締役会長：内海暎郎（三菱信託銀行取締役社長）
取締役社長：三木繁光（東京三菱銀行頭取）

4．本社所在地

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号（有楽町ビルヂング）

5．設立時期（設立登記予定日）

平成13年4月2日（月）

6．資本金

1兆1,465億円

7．上場取引所（申請予定）

国内：東京証券取引所ならびに大阪証券取引所

海外：ニューヨーク証券取引所ならびにロンドン証券取引所

（組織図については、P. 5ご参照）

．経営計画

1．財務目標

(金額：億円)

	11年度実績 ^{*1}	15年度目標	増減
連結業務粗利益	16,000	20,800	+4,800
連結営業利益 ^{*2}	7,200	10,300	+3,100
連結当期利益	1,730	4,900	+約3,200
経費率 ^{*3}	51%	44%	7%
連結ROE	5.2%	12%程度	+6～7%
BIS自己資本比率 (Tier1比率)	11.5% (6.0%)	12%程度 (7.5%程度)	+0.5～1% (+1.5%)

*1：11年度実績は各行の公表済財務諸表に基づき試算(単純合算ベース)

*2：各行の業務純益(信託勘定償却前、一般貸倒引当金繰入前)とグループ企業の営業利益の単純合計

*3：東京三菱銀行(単体)および三菱信託銀行(単体、信託勘定償却前)の業務粗利益の合計を分母、経費の合計を分子としたもの

2．事業分野別収益目標

(金額：億円)

	11年度実績	15年度目標	増減
連結営業利益	7,200	10,300	+3,100
個人取引	590	1,790	+1,200
中堅・中小企業取引	1,740	2,230	+490
大企業取引	1,880	2,250	+370
投資銀行業務	380	760	+380
資産運用・管理業務	340	660	+320
UNBCその他	120	410	+530
トレジャリー業務	2,390	2,200	190

3．平成15年度の統合効果(平成11年度比)

(金額：億円)

	金額
統合効果	400
粗利益増加の効果	320
経費削減の効果	110
統合コスト	30

．事業戦略

1．基本戦略

- (1) 専門性の高度化による競争優位性の一層の強化
- (2) 成長分野における人材・ノウハウの集中と協働による取引基盤の強化
- (3) 東京三菱銀行と日本信託銀行との間で培った協働の仕組みの発展的継承による統合効果の早期実現

2．経営効率の向上

- (1) 共同店舗化等の推進
- (2) 事務・システムの共有化
- (3) 人員効率化

．事業分野別戦略

1．個人取引

(1) 基本戦略

高付加価値サービス提供による富裕層取引の拡充
ITをフルに活用したマルチチャネルによる顧客基盤拡大・コスト競争力強化

(2) 具体的施策

運用商品相互乗り入れ、共同店舗展開による統合効果の早期実現
富裕層スペシャリストの支店配備
信託機能（遺言信託等）の活用による富裕層資産の獲得
ライフプランニング業務の積極的活用
ダイレクトチャネルの整備・拡充

2．中堅・中小企業取引

(1) 基本戦略

最適ソリューションをクイックに提供するビジネスモデルの展開
多角的な高付加価値サービスの提供による収益力の増強

(2) 具体的施策

集約化によりRM機能を高度化した法人担当者と支店配備スペシャリストチームの協働による高度なサービスの提供
国内ネットワークを活用した不動産仲介業務の拡大および流動化ニーズへの積極的な対応
アジアを中心とした顧客の海外展開に対する多角的サポートの強化
フィービジネス拡大及び戦略的プライシングによる収益構造改革・強化
B2Bビジネスリーダーシップの確立

3．大企業取引

(1) 基本戦略

ソリューション型業務推進による高付加価値サービスの提供
グローバルネットワークを活用した営業基盤の強化

(2) 具体的施策

法人信託業務の協働体制の確立
投資銀行ビジネスを積極活用した総合的アプローチ
顧客のバランスシート再構築支援
海外ハブ&スポーク体制の推進

4．投資銀行業務

(1) 基本戦略

プロダクト別グローバル体制構築
戦略提携の活用によるマーケット・プレゼンスの早期かつ飛躍的な向上
顧客の事業戦略に対する総合的ソリューションの提供

(2) 具体的施策

ストラクチャード・ファイナンス業務、協調融資およびローンセカンダリー市場での競争優位の確立
リーマンブラザーズと連携したクロスボーダー・大型M & Aの取組み強化
不動産証券化業務（特に日本版REIT）でのリーダーシップの確立
対顧客投資銀行サービス強化

5．資産運用・管理業務

(1) 基本戦略

総合的な資産運用力と優良顧客基盤を生かしたビジネス展開
国内最大の資産管理機関としてのトップクオリティ・サービスの提供

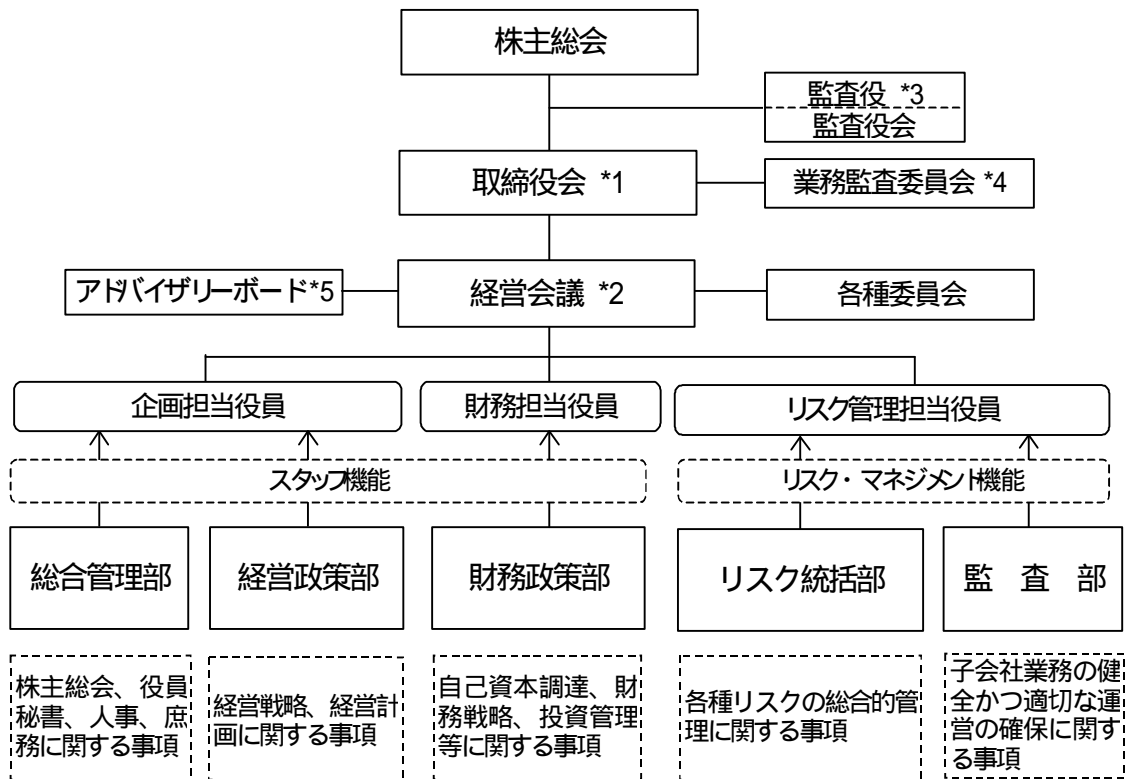
(2) 具体的施策

年金顧客への資産運用における戦略的パートナーシップの発揮
両行の高度で幅広い運用ノウハウを結集した投信商品の提供
富裕層を対象とした資産運用業務への積極的取り組み
顧客ニーズを先取りした高付加価値管理サービスの提供
グローバルプレーヤーとしての資産管理インフラの整備

．三菱東京フィナンシャル・グループの強み

- 1．統合効果の早期実現
- 2．優良な顧客基盤と充実した内外ネットワーク
- 3．強固な財務基盤
- 4．資産運用・管理業務トップ
- 5．戦略的発展性

(三菱東京フィナンシャル・グループの組織図)



*1：取締役会

- ・取締役会長、取締役社長、専任取締役^a(3名)、兼任取締役^b(4名)、社外取締役(2名)の計11名により構成。

^a：企画担当、財務担当、リスク管理担当として持株会社業務に専念する取締役

^b：子会社となる銀行の取締役を兼任する取締役

- ・代表取締役は取締役会長、取締役社長および専任取締役3名の計5名。

*2：経営会議

- ・取締役会長、取締役社長、専任取締役(3名)の計5名により構成。

*3：監査役

- ・常勤監査役2名、非常勤監査役3名の計5名により構成。
- ・非常勤監査役のうち2名は社外の弁護士、公認会計士。

*4：業務監査委員会

- ・外部の弁護士・公認会計士等により構成の予定。

*5：アドバイザーボード

- ・社外有識者4名により構成。

以上

(照会先) 東京三菱銀行：広報室	広報G	加藤 ^{かとう}	(03-3240-2950)
三菱信託銀行：経営企画部	広報室	宮腰 ^{みやこし}	(03-3519-3070)
日本信託銀行：総合企画部		工藤 ^{くどう}	(03-3245-8279)